

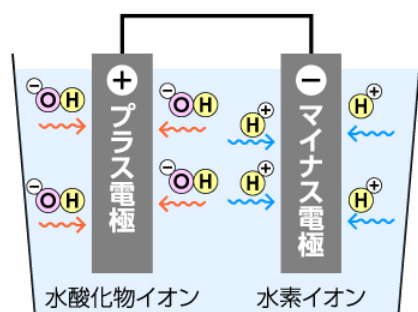
今話題の「水素水」を ご家庭で!



水素水生成器G

水素水ができる仕組み

水(H₂O)に電気を通すと、水酸化物イオン(OH⁻)と水素イオン(H⁺)に分かれます。これらがそれぞれプラスとマイナスの電極に引き寄せられ、プラス電極では酸素(O₂)が発生し、マイナス電極では水素(H₂)が発生します。



1

付属のACアダプタと接続し、充電してください。充電中は赤色のLEDライトが点灯し、充電が完了すると緑のライトが点灯します。



充電中

充電完了

2

充電が完了したら、コンセントを外し、ボトルに水道水を入れてください。電源スイッチを押したら水素水の生成がスタートします。



3

青色のLEDライトが点灯したら、水が泡立ち水素水が生成されます。



4

約4分後、青色のライトが消灯したら水素水が完成です。



充電しながら
生成することも
できます



水素水生成中は
青色のLEDライトが点灯



生成が完了すると
赤色のLEDライトが点灯

お客様からの質問にお答えします



水素水生成器G

水道水以外で水素水を作っても大丈夫ですか？

ミネラルウォーターは硬水のため、水素の生成が弱くなります。そこで、基本的には水道水の使用をおすすめしています。また、お湯、ジュース、スポーツドリンク等は故障の原因になるため、使用しないでください。

いつどれくらいの量を飲めば良いですか？

特に決まりはありませんが、1日1～2杯を目安にしてみてください。もちろん、朝昼晩お好きなときに、お好きなだけ飲んでいただいてもかまいません。

ボトルケースから水素が抜けることはありますか？

一般的に水素水の水素はどんな容器に入れておいても、自然に抜けていくとされています。そこで、作り立てを10分以内に飲むことをおすすめします。弊社で残存濃度を調べたところ、3時間後には30～40%減、8時間後には60～70%減となります。その際は、再度ボタンを押して生成し直せば、いつでも作り立ての水素水を飲むことができます。



3時間後の残存濃度 470ppb



8時間後の残存濃度 239ppb

内臓のリチウム電池は何回まで充電できますか？

購入後まずは、付属のACアダプターと接続し充電してください。電池は内蔵タイプの充電式なので交換はできませんが、約300回のフル充電が可能です。1回のフル充電で可能な水素水生成は約15回であり、電池寿命から計算すると理論上約4500回の生成となります。



USBコネクターは無地の面を上にして差し込んでください。

生成される水素水の濃度はどのくらいですか？

溶存水素濃度は、試験の結果、生成時間わずか4分で647ppbの数値を確認しています。この数値は日本水素水振興協会にて認定されたものですが、使用する際の飲料水の種類や温度、生成環境によって左右されるため、あくまで目安とお考えください。



日本水素水振興協会認定
溶存水素濃度
647ppb

※ppbとは、科学や工学で小さい数値の濃度を表す単位。